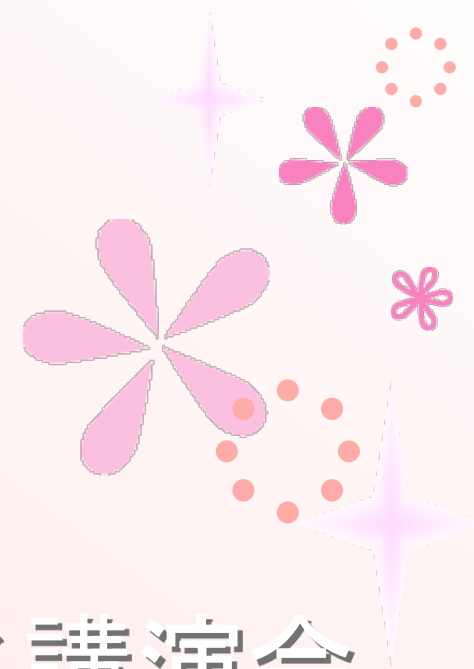


www.***.com



平成23年度キャリアパス講演会

プラスになる転機

木挽 あゆみ
2004年 埼玉大学大学院 理工学研究科
基礎化学専攻 博士前期課程 修了

略歴



- 2002年3月 埼玉大学理学部基礎化学科 卒業
- 2004年3月 埼玉大学大学院理工学研究科
基礎化学専攻博士前期課程 修了
- 2004年4月 大日本印刷株式会社 入社
電子デバイス事業部に配属
- 2007年4月 東レ株式会社 入社
新事業開発部門に配属
- 2008年2月 株式会社東芝 入社
プロセス技術推進センターに配属
- 2010年4月 先端メモリ開発センターに異動

大学3年の頃

➤ キャリアのイメージ

将来は化学系メーカーで研究開発をしたい。

- 興味のあるものがある(モチベーションを維持できる)
- 一般消費者向けの身近なものを作りたい
- 視覚でやりがいを感じられるものがある
ex. 自分の手掛けたものを店頭で見られる
ユーザーの反応をダイレクトに見られる
- 女性が働きやすい環境がある

⇒化粧品業界を希望

➤ 就職か？進学か？

- 大学に6年もいたくない(長い)
- 大学院は大変そう
- 女性は大学院に行くと不利??
- 化粧品業界は大卒でも研究開発職に就ける

⇒就職を選択し、大学3年で就職活動を開始。



就職希望⇒大学院進学

化粧品・食品業界は理系女子学生の人気ランキングで上位を独占。
大勢の中から自分が選ばれるほど何かを持っているとは思えない。
プレゼン能力もない。
どこか内定もらえたらラッキー!!くらいの甘い考え。

⇒6月になっても内定もらえず…。

大学生活を振り返って、自信を持って『これをやりました』と言えるものがない。
研究に対するイメージが薄く、自分の研究について話すのも難しい。
研究開発職に就きたいなら、最低限必要なスキルを事前に身につけたい。

⇒7月に大学院進学を決意

大学院で2年間研究テーマに真剣に取り組んだ。

- 自信がついた
- 真面目になった
- 精神的に強くなった
- 自分で考えるようになった
- 落ち着いた
- 自己管理がしっかりできるようになった



就職活動

2002年12月
(修士1年)

就職活動開始

- 化学系メーカーを中心に活動
- 職種(研究開発職)と勤務地(ド田舎以外)を重視
- その他こだわりなし

2003年3月

なかなか選考が進まず心が折れる
就職できないかも・・・という不安に駆られる
⇒化学に囚われず他の業界にも目を向ける
馴染みのない企業も積極的に受ける

パッと見た感じ興味はなくても
仕事として割り切れればやりがいを見つけて頑張れるはず

2003年5月

大日本印刷株式会社 内定

(この直後に応募締切。ギリギリ間に合った!!)

就職活動終了

エントリー数は100社超、面接を受けたのは20~30社



就職活動を振り返って



➤ やりたいこと、興味のあることに対する『こだわり』を捨てる勇気も大切。
特定企業に人気は集中する。
こだわりを捨てることで可能性が広がる。
こだわり続けた結果、
気付いたら他の企業の採用活動も終わってしまい、どこにも就職できないなんてことも……。

あるHPより抜粋↓

就職できない大きな原因は『自分が受かる相場観がわかっていないこと』
要するに『中小企業・知らない企業』に目が向かないことが一因。

高望みして落ちまくった結果、
中小企業・知らない企業に目が向くまでに半年以上かかっている人が多い。

➤ 理系の場合は修士を積極採用する企業が多い。
学部の時よりも選択肢が増えたと思う。

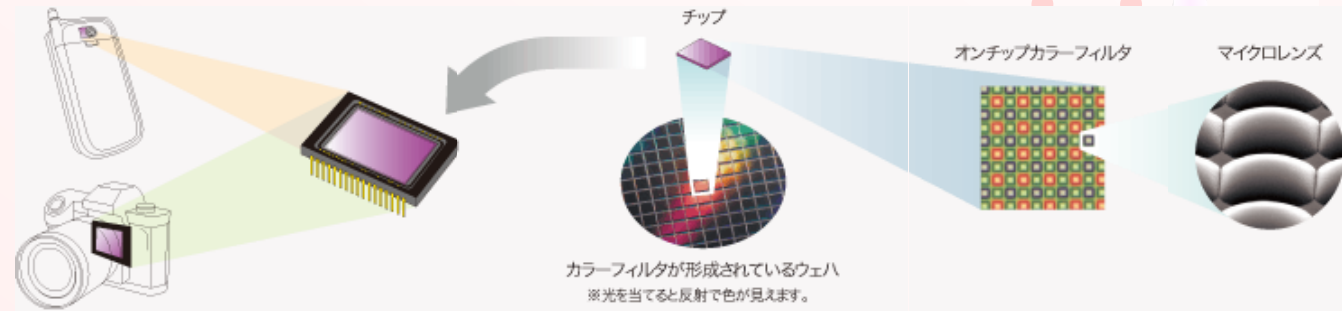
➤ 女性が就職に不利かどうかは企業によって大きく異なる。
説明会の案内が来ない、集団面接でほとんど話を聞いてもらえない企業もあれば
女性を積極採用している企業もある。
表向きはわからないことが多いので、とりあえずいろいろ受けてみるとよい。

エレクトロニクスとの出会い

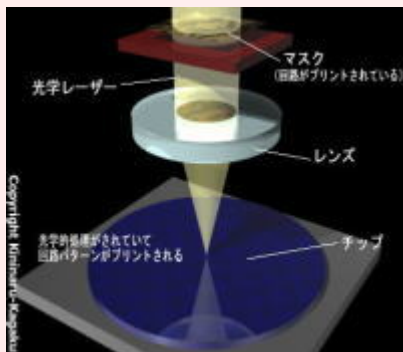
2004年4月

大日本印刷株式会社 入社
電子デバイス事業部に配属

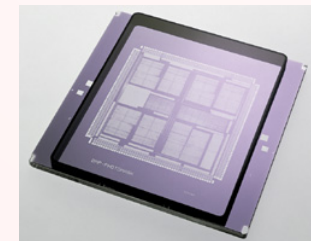
1,2年目； イメージセンサー向けカラーフィルター・マイクロレンズの
材料プロセス開発に従事。



3年目； 半導体用先端フォトマスクのプロセス開発に従事。



フォトマスクに描かれた回路パターンを
光や電子ビームなどを使ってウエハに転写する
リソグラフィ技術



転職

仕事に慣れてきた頃、自分のキャリアに疑問を感じる。
果たしてこれが自分にとって適職なのか？
他の業界に行きたい。

⇒転職を決意

2007年4月

東レ株式会社 入社

LCD駆動IC実装用回路基板の微細加工、量産技術開発に従事。
(応募時の希望と違う部署)

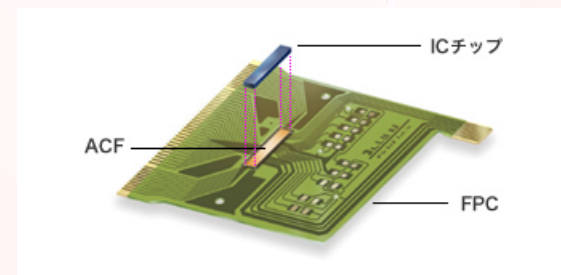
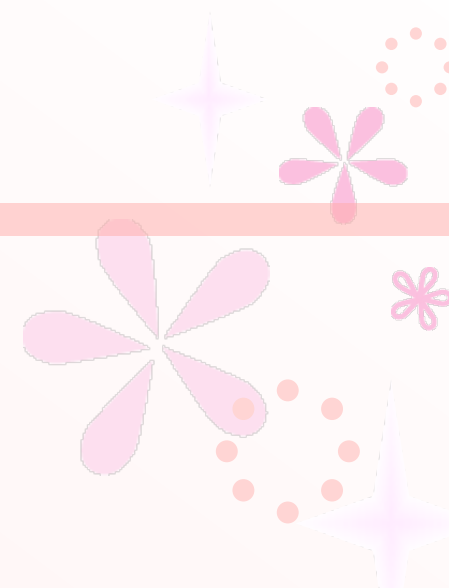
微細化をやるなら、
最先端の半導体プロセス開発に携わって頂点を目指したい。

⇒再び転職を決意

2008年2月

株式会社東芝 入社

現在は先端メモリ開発センターに所属。
リソグラフィプロセス開発に従事。



今までを振り返って思うこと

➤ 思い描いていたキャリアとの相違について

まさか半導体をやるとは思わなかった。(学生時代の就職活動では一切触れていない業界)美容業界への転職を何度も考えた。

アロマセラピスト、エステティシャン、メイクアップアーティスト、ネイリストなど...

短期間スクールに通ったり、色々試してもがいた。

未だに華やかな(?)業界を羨ましいとは思いますが、冷静に考えて自分には適していないような気がする。

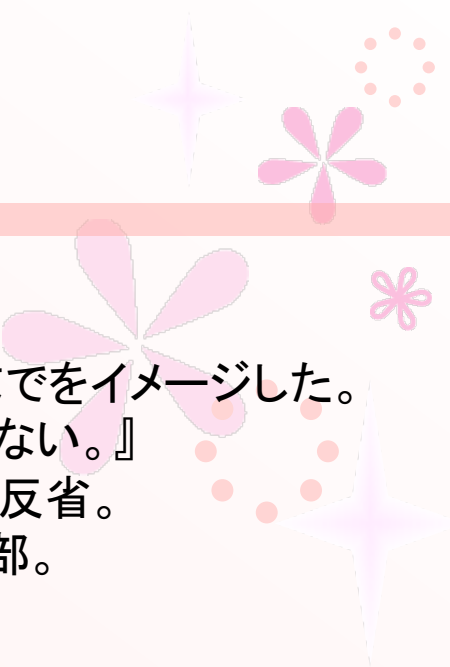
➤ 現在のキャリアでよかったと思えること

- 専門性がなくても自分の能力(個性?)を発揮し、成果を出せていること
- 職場環境がよいこと、周囲のサポートが厚いこと
- 広い人脈を形成できたこと
- それなりの収入を得ていること
- 会社に守られている安心感があること

➤ 未だに辛いこと

- モチベーションを維持すること

純粋に興味がない分野なので、仕事があまくいかないとき、トラブルが起こったとき、周りについていけないときなどは落ち込む。



➤ 転職するとは思わなかった。(行動力もないのに)

ある日先輩社員から言われたこと。

『自分は企業研究をしっかりとやった。入社してから定年を迎えるまでをイメージした。だから最初から満足のいく会社に就職できた。転職なんてあり得ない。』

⇒確かに、2回も転職した自分は企業研究が不十分だったと少し反省。

でも、企業研究をしっかりとやっても外部から見えるのはほんの一部。

入社して初めてわかることの方がはるかに多い。

なるほど！と思ったことば↓

『最初の仕事はくじ引きである。最初から自らに適した仕事につく確率は高くない。

得るべきところを知り、向いた仕事に移れるようになるには数年が必要である。』

P.F.ドラッカー プロフェッショナルの条件

➤ 大学の研究をダイレクトに活かせる仕事は少ない。

化学系にとらわれず、視野を広げて色々な業界を見ることをお勧めする。

ただ、残念ながら業界を跨いだ転職は難しい。

決して不可能ではないが、現職を続けながらの転職活動は結構キツイ……。

➤ たとえ最初に希望通りの道に進めなくても、自分に適した環境を求めて柔軟に進路変更をするなど、ある程度の軌道修正は可能。